

Ⅱ 調査設計

本調査の調査設計について

(1) 調査の名称

「特別支援学校における支援システムの充実のための取組に関する調査」

(2) 目的

特別支援学校における在籍者への対応及びセンター的機能に関わる校内体制など特別支援教育における支援システムの状況を把握し、今後の特別支援教育システムの充実に向けた取組の課題を整理する。

(3) 調査の内容

特別支援教育体制の支援システムにおける特別支援学校の組織体制やその機能の状況について調査する。

調査項目は、特別支援教育体制の支援システムの構成を整理し、また、先行調査の調査項目を参照し、経年的な変化を追うことができるように設定した。

以下、各項目を基本情報と4部で構成した。

基本情報	学校が対象とする障害種の状況
第1部	校内外との連携の仕組みと機能
第2部	校内支援の仕組みと機能
第3部	地域への支援の仕組みと機能
第4部	支援システムの充実への取組の成果と課題

第1部 校内外との連携の仕組みと機能

1. 特別支援教育コーディネーターの指名と役割
2. 連携のための組織の構成と活動
3. 地域の関連機関との連携
4. 教育委員会と連携
5. 専門家チーム、巡回相談員との連携
6. 校内外の支援資源の把握

第2部 校内支援の仕組みと機能

1. 在籍者への校内支援体制
2. 個別の教育支援計画の作成と活用
3. 交流及び共同学習

第3部 地域への支援の仕組みと機能

1. センターの機能を担うための学校組織
2. センターの機能に関わる情報の収集と提供
3. 地域の小・中学校等への相談・支援活動の実施状況
4. 地域の保護者・本人への相談・支援活動の実施状況
5. 地域の小・中学校等の教員に対する研修協力・研修会等
6. 学校の施設・設備、教材・教具の地域への提供
7. センターの機能の評価

第4部 支援システムの充実への取組の成果と課題

1. 支援システムへの理解
2. 支援システムの機能
3. 支援システムの課題

(4) 調査対象

全国特別支援学校（本校）（悉皆調査）

回答者は、校長あるいは、校長が指名する教職員で学校全体の状況を把握する立場にある者

(5) 調査の基準日

- ①学校の基本的事項については、平成22年5月1日とする。
- ②調査各項目については、特に、断りがない限り平成22年4月1日以降、調査回答日までの状況とする。

(6) 回答期限

平成22年10月31日

(7) 回答方法

以下のいずれかの方法による。

- ①調査票の電子媒体（Microsoft Excel）に記入し、電子メールで返信する。
- ②調査票に記入しFaxにより返信する。
- ③調査票に記入し郵便により返送する。

※巻末に調査票を掲載している。